

先人に学ぶ

今回は、偉人に関する本をご紹介します。迷ったり悩んだりしたときの参考にできる何かと出会えるかもしれません。ぜひ読んでみて下さい。

『偉人は死ぬのも楽じゃない』

ジョージア・ブラック著、梶山あゆみ訳 河出書房新社

モーツアルトは毒虫の粉とカラシと油を混ぜたものを体中に塗られ膨れ上がって…。ベートーヴェンは腹にあけた穴から溜まった体液を抜かれた上蒸し風呂に入れられ…。

ツタンカーメンからアインシュタインまで、世界の偉人たちの驚きの最期を当時の治療法やユーモアたっぷりの解説を交えて紹介する異色偉人伝！



『暗やみの中のきらめき』点字をつくったルイ・ブライユ

マイヤリーサ・ディークマン著、古市真由美訳、

森川百合香絵 汐文社

盲人のフランス人少年ルイ・ブライユが点字を発明するまでを、フィンランド人の少年レオの視点で書かれた本。200年という時代の差はあるけれど、共に3歳の時に視力を失ったルイとレオ。自分の力で生きていけるように夢と希望と信念をもっていたルイの存在が、レオに大きな勇気と希望を与えます。



『藤子・F・不二雄』「ドラえもん」はこうして生まれた

筑摩書房編集部著 筑摩書房

日本中誰もが知っているドラえもん。そのドラえもんの生みの親、藤子・F・不二雄はどんな生涯を送ったのでしょうか。

おとなしくて漫画が好きだった子供時代、コンビを組む安孫子素雄との出会い、トキワ荘での生活、そしてドラえもんの誕生…。世代を超えて愛され続けるドラえもん誕生の原点にふれてみてください。



『南方熊楠』森羅万象を見つめた少年

飯倉照平著 岩波書店

若くして世界に飛び出し、学問の視野を広げた南方熊楠。故郷熊野の森で植物採集に没頭し、多方面で超人的才能を発揮した巨人です。

“偉人とは、可能性の極限を目指し、情熱をもって追求する人”であることを教えてくれる本です。



『スティーブ・ジョブズの生き方』

カレン・ブルーメンタール著 あすなろ書房

例えはあなたのアイデアを人前で容赦なく罵倒するような人物が、あなたの周りにいたらどうだろうか。スティーブ・ジョブズはそんな男だった。

時代を大きく変えてきた企業「Apple」の最高責任者。創造的な才能の持ち主が一筋縄ではいかないことを実感する評伝です。



『やなせたかし』「アンパンマン」誕生までの物語

筑摩書房編集部著 筑摩書房

今では誰もが知っている国民的ヒーロー、アンパンマン。アンパンマン生みの親である やなせたかしさんの生い立ち、家族との別れ、戦争、そしてアンパンマンが受け入れられるようになった現在に至るまでの壮絶な人生の物語です。

絵本『あんぱんまん』のあとがきには、本当の正義について、やなせたかしさんの想いが綴られています。ぜひ読んでみてください。

1/12(火)～22(金) 高井戸中学校読書週間

ビブリオバトルを開催予定！参戦・観戦大歓迎です！！！

2016年 冬号(15号) 高井戸図書館